

## 基本目標 I - 1 稼ぐ力と安定した雇用環境のあるまちづくり



## 基本的な方向

- 人口減少社会の中で、持続可能な経済成長を実現するため、企業の経営基盤の強化や付加価値の向上、取引先確保や販路の拡大、人材確保、企業誘致や新たなビジネスモデルの創出などに取り組むことで、産業の発展・振興を図ります。
- 農林水産業の担い手の確保や育成、産地化、販路拡大、6次産業化\*などに取り組み、持続可能な農林水産業の実現をめざします。



## 数値目標

指標名	現状	目標
就業者1人当たりの市内GDP	R4年度 6,516千円	R10年度 7,338千円
市内事業所数	R6年度 7,449件	R11年度 維持



## 重点施策

- ① 経営基盤の強化・付加価値の向上
- ② 人材育成・労働力の確保
- ③ 起業・創業及び事業承継の推進
- ④ 経済団体、金融機関、大学、産業支援機関等との連携
- ⑤ 国際経済交流の推進
- ⑥ 企業誘致活動の推進
- ⑦ ビジネスマッチング\*の推進
- ⑧ 生産性向上の推進
- ⑨ 農商工連携の推進
- ⑩ 企業の脱炭素の推進
- ⑪ 商業の活性化
- ⑫ 物産の振興
- ⑬ 伝統産業の活性化
- ⑭ 農林水産業を支える多様な人材の育成・支援
- ⑮ 産地化・ブランド化による収益率の向上
- ⑯ 生産基盤の整備と多面的機能の確保
- ⑰ 販路の拡大と地産地消の推進
- ⑱ 6次産業化\*と農商工連携
- ⑲ 次世代型農林水産業の具現化



## 主な取組

### エネルギーの地産地消の仕組みを構築し、地域内経済循環を促進

平成27年に「鳥取市スマートエネルギータウン構想」を策定し、地域特性をいかした持続可能な再生可能エネルギー\*導入の仕組みづくりとこれらの分散型エネルギー設備を活用したエネルギーの地産地消の仕組みを構築し地域内経済循環を促進しています。

現在、エネルギーの地産地消、地域脱炭素の推進の取組を若葉台、佐治町で実施しています。



再生可能エネルギー\*  
導入による産業振興



### 若者にとって魅力ある雇用の場の創出とスタートアップ支援

若者の転出超過が進行している中、中心市街地にビジネス・コミュニティ拠点を整備し、官民連携による企業誘致や起業・創業支援などに取り組むことで、新たな人の流れをつくり、エリアの価値を高め、若者が活躍できる場の創出を進めています。



鳥取市まちなかビジネス共創スクエア  
カトカミ

